

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会(第 24 期・第 2 回)
議事録

1. 日時 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 12:15~13:05
2. 会場 秋田大学教育文化学部 3 号館 301 室
3. 出席者： 中田節也 (防災科研)・山岡耕春 (名大大学院)・井口正人 (京大防災研)・市原美恵 (東大地震研)・上田英樹 (防災科研)・篠原宏志 (産総研)・清水 洋 (九大大学院)・中川光弘 (北大大学院)・森田裕一 (東大地震研)
4. 欠席者： 西村太志 (東北大大学院)

5. 配布資料
資料1. 地球惑星科学委員会IUGG分科会IAVCEI小委員会(第24期・第1回)議事録
資料2. アジア火山コンソーシアム
資料3. IAVCEI執行委員名簿
資料4. IAVCEIの各賞 (Wager Medal、 George Walker Award)
資料5. 今後の会議予定

6. 議事概要
 - (1) IUGG の動向
 - ・中田委員長より、IUGG の執行委員推薦受付の締め切りが 10 月 8 日であり、モントリオールで開催される 27th IUGG General Assembly の予稿投稿受付が 10 月 1 日から始まるとの報告があった。
 - (2) IAVCEI の動向
 - ・中田委員長より、9 月 3-7 日に COV が開催され、次回は 2020 年にギリシャのクレタ島で開催されると報告があった。また、執行役員の推薦のアナウンスを 12 月中に行い、来年 1 月下旬締め切りで推薦の受付が行われるとの説明があった。
 - (3) 次世代火山研究・人材育成プロジェクトの進捗状況
 - ・中田委員長より、人材育成プロジェクトにて、インドネシアのシナブン火山やトバカルデラ、イタリアのストロンボリ火山で現地研修が実施されたと報告があった。また、ユネスコチェア事業に応募して、人材育成プロジェクトを国際的な取り組みに発展させられないか検討中との説明があった。
 - ・ストロンボリでの現地研修は、来年も実施予定との報告があった。
 - (4) アジア火山コンソーシアム
 - ・井口委員から、11 月 19-22 日にインドネシアのジョグジャカルタで開催するアジア火山コンソーシアムのフィールドキャンプについて説明があった。また、JSPS の研究拠点形成

事業に申請中との説明があった。

(5) 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)

・井口委員から、インドネシアとの間で実施している SATREPS プロジェクト「火山噴出物の放出に伴う災害の軽減に関する総合研究」(2014-2019年)は今年度が最終年度で、10月に最終評価があるとの報告があった。

・市原委員から、コロンビアとの間で実施している SATREPS プロジェクト「コロンビアにおける地震・津波・火山災害の軽減技術に関する研究開発」(2015-2020年)について説明があった。

(6) IAVCEI 次期執行委員の推薦及び各賞候補者の推薦

・IAVCEI 次期執行委員の副会長候補に井口委員、委員候補に防災科研の藤田氏を推薦する方向で働きかけることにした。

・Wager メダル候補に東北大学の奥村聡氏と東京大学の鈴木雄治郎氏、George Walker 賞候補に名古屋大学の前田裕太氏を推薦する方向で働きかけることにした。

(7) 今後の会議予定

・中田委員長より、今後のスケジュールについて説明があった。次回は、2019年5月に開催される日本地球惑星科学連合 2019年大会の会期中に開催する予定との説明があった。